湯西川温泉の旅　11月14日(土)〜15日(日)

泊まり:**桓武平氏ゆかりの宿 揚羽〜AGEHA〜**(予約済み)　チェックイン 15:00(最終 18:00)／チェックアウト 10:00　車で 🚙

1日目　11月14日(土)

時刻	どこで	すること・メモ
11:00	自宅	出発。前日までに給油
11:00 → 11:30	鹿沼の市街へ(約30分)	
11:30〜12:30	**宇都宮みんみん 鹿沼店**	昼食:餃子 🥟(10月と同じ店)。11:00〜20:30・**不定休** → 前の日に公式のお知らせを見る。昼どきは並ぶので、少し早めに着くとよい
12:30 → 13:50	今市 → 鬼怒川 → 川治 → **道の駅 湯西川**(約1時間20分)	国道121号を北へ。**鬼怒川〜五十里湖の紅葉は、見頃の終わりごろ**の見込み(直前に確かめる)
13:50〜14:40	**道の駅 湯西川**(湯西川温泉駅のとなり)	珈琲ブレイク ☕ と**無料の足湯**。五十里湖をながめる。お土産も見られる
14:40 → 15:05	湯西川温泉の集落へ(約25分)	川沿いの細い山道。日が早く落ちるので、明るいうちに着く
15:05〜16:05	**平家の里**	茅葺きの家が並ぶ、平家の落人の暮らしの資料館。8:30〜17:00・大人510円。平らな道が多い。**夕方の茅葺きと灯り**は写真によい
16:20	**揚羽** 🏯	チェックイン。武家屋敷の宿。館内はバリアフリーではない(段差に気をつける)
夜(17:30〜)	宿	夕食(1組75分。時刻はチェックインのときに)。**貸切風呂は6か所**、初めて使うとき 1組 3,000円の「湯巡り茶屋手形」

2日目　11月15日(日)

時刻	どこで	すること・メモ
5:45〜6:30	宿のまわり・川	(撮れたら)夜明け前の青い時間の撮影。日の出は 6:10ごろ。朝の湯けむり
7:00〜8:20	宿	朝食(最終入場 8:20)。そのあとは朝風呂・荷造りで、ゆっくり
10:00	揚羽	チェックアウト(延長はできない)
10:00 → 11:15	川治 → 鬼怒川 → 今市(約1時間15分)	来た道(国道121号)を戻る
11:15〜12:00	今市瀧尾神社 ⛩	今市の総鎮守。木の大鳥居・石灯籠の参道・叶願橋・**大イチョウ**。**月ごとに絵柄の変わる御朱印**(片面500円)。受付 9:00〜16:00・無料駐車場・国道119号沿い
12:00〜13:00	今市	昼食:お蕎麦 🍜(店は前の日に決める)
13:00 → 13:15	森友へ(約15分)	
13:15〜14:00	森友瀧尾神社 ⛩	**縁結び**の神社。**栃木県一といわれる大注連縄**(2本の縄を男女に見立てる)。直書きの御朱印(大注連縄と「縁」の印)。受付 9:00〜17:00・無料駐車場(15台ほど)
14:00 → 15:00	土沢IC → 日光宇都宮道路 → 宇都宮 → 自宅(約1時間)	
15:00ごろ	自宅 🏠	到着・休憩

組み方のねらい(クロコ)

- ご希望どおり**お昼ごろの出発**。みんみんのあとは、**道の駅 湯西川**と**平家の里**の2か所だけ足した。どちらも宿のすぐ近くで、平らに歩ける。
- みんみんから宿まで、まっすぐ行けば1時間40分ほど。**疲れていたら平家の里は省いて、15:00 に宿へ直行**してもよい(2日目の朝に回せる)。
- **2日目は、ゆっくり**(彼女と相談して決めた)。大きな予定は入れず、帰り道に**神社を2つ**。どちらも今市の近くで無料の駐車場があり、帰り道からほとんど外れない。前回の報徳二宮神社と同じ今市。
- **11月の撮影**:茅葺き・夕方の灯り・朝の湯けむりは、冬の曲(「家に帰ろう」の窓の灯りなど)の素材にもなる。
- 山の中は朝晩かなり冷える。冬用タイヤが必須になるのは 12月からだが、11月でも路面の凍結に気をつける。

移動の時間は地図からのめやす(クロコの見立て)。宿の時刻・夕食・貸切風呂は揚羽の公式サイトの「よくあるご質問」、平家の里は観光サイトの掲載(2026-10-19 に調べた)。神社は紹介記事と口コミから(2026-10-25 に調べた)。前の日に確かめること:みんみんの休み／紅葉の具合／道の駅と平家の里の営業／2つの神社の御朱印の受付時間。(2026-10-19 クロコ・10-25 2日目を更新)